

事務事業名	社会教育事務事業			事業コード	10050105101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	村中 秀也		
事業対象	坂井市市民全体						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	社会教育法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	生涯学習事業として小規模な事業や、生涯学習全体を補助的に支援する事業です。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい知識と教養を身につける機会を広く市民に提供し生活の中により高い文化を創造することを目的として成人大学講座、大学開放講座を開校する。</li> <li>・坂井市の生涯学習・スポーツの冊子を作成し、今後の生涯学習・スポーツ事業を展開する上での資料とする。</li> </ul>						

すぐに行ける改善提案	より多くの市民参加を求め、費用対効果を求める		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	固定化されてきている地域においては事業の内容を見直し受講生の意見を取り入れながら計画を行っている。		
中長期的に取り組むべき改善提案	継続すべき事業と単発の事業の内容を的確に判断し、固定化された参加者の事業は自主事業に移行することで、新たな受講生の発掘と、生活問題の解決に寄与する		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	3年以上の継続講座は自主講座に移行させ、長期的継続事業においても事務以外の運営を受講生に移管している。また、単発事業の1つに、毎年地域の問題点に取り組む事業を企画、実施することで地域の問題解決と新たな受講生を求める事業にも取り組んでいる。		

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費							
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度				
			報酬	510	千円		千円		千円		千円		
			委託費		千円		千円		千円		千円		
			需用費	30	千円		千円		千円		千円		
			役務費		千円		千円		千円		千円		
			その他	148	千円		千円		千円		千円		
		事業費合計	688	千円		千円		千円		千円			
		人件費	正職員	0.04	人	284	千円		人	千円		人	千円
			臨時職員	0.00	人		千円		人	千円		人	千円
			人件費合計	0.04	人	284	千円		人	千円		人	千円
	総事業費			972	千円			千円			千円		
	事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円		
			使用料・手数料		千円		千円		千円		千円		
			分担金・負担金		千円		千円		千円		千円		
地方債				千円		千円		千円		千円			
その他				千円		千円		千円		千円			
一般財源			972	千円		千円		千円		千円			
財源合計		972	千円		千円		千円		千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	受講生のニーズに沿った成人大学講座として開放講座も含めた事業の継続を図っていきたくと考えています。生涯学習・スポーツの推進するための冊子の充実を図りたいと考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	成人大学講座は受講者代表の意見を尊重しながら運営していきたくと考えています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	受講料を徴収していることから、適正な講師謝礼・研修費の支払いとともに、安価かつ優秀な専門講師の選定をしていきたくと考えています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	事業の大きな変動がない限り、現状を維持していきたくと考えています。			
すぐに行ける改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて、進捗状況を常に確認していきます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めていきます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
	成果	生涯学習・スポーツ報告書作成	回	目標値	1	達成率	1	達成率
				実績値	1	100	1	100
				目標値		達成率		達成率
				実績値				
				目標値		達成率		達成率
				実績値				
				目標値		達成率		達成率
				実績値				
				目標値		達成率		達成率
				実績値				
				目標値		達成率		達成率
				実績値				

事務事業名	社会教育団体補助事業			事業コード	10050105106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	岡田 浩一
事業対象	坂井市PTA連合会、(社)ガールスカウト日本連盟福井県第17・20団、日本ボーイスカウト福井連盟坂井第5・6団、坂井市女性の家利用生活改善グループ、坂井市女性の会、坂井市壮年会連絡協議会、三国海洋少年団、坂井市かるた協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

社会教育団体の活動・運営を支援するとともに、組織の育成を行い、社会教育の推進を図っています。

社会教育団体に対し補助金を交付し、活動の支援・指導・育成を行います。

○補助及び交付金 2,669千円

- ・PTA連合会事業補助金 250千円
- ・ガールスカウト育成団体運営補助金 140千円
- ・ボーイスカウト育成団体運営補助金 140千円
- ・三国海洋少年団育成団体運営補助金 70千円
- ・女性の家利用生活改善グループ運営補助金 87千円
- ・女性の会運営補助金 1,632千円
- ・かるた協会事業補助金 350千円

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	2,669千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	2,669千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.21人	1,493千円	人	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.21人	1,493千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		4,162千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源		4,162千円	千円	千円	千円	千円						
財源合計		4,162千円	千円	千円	千円	千円	千円					

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
【事業の成果】	成果	事業費補助率	%	目標値 33.3 達成率 33.3	目標値 73.5 達成率 41.9	目標値 57.4 達成率 125.83	目標値 43.8 達成率 131.53	
		実績値	73.5	220.72	41.9	125.83	57.4	172.37
活動	1人当たり自己負担金	円	目標値 10,000 達成率 10,000	目標値 7242 達成率 72.42	目標値 6015 達成率 60.15	目標値 6506 達成率 65.06		
		実績値	11,111	111.11	7242	72.42	6015	60.15
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値		実績値	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値		実績値	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値		実績値	

すぐにできる改善提案	各団体の補助額について適正化を図る必要があります。
目標年度 平成25年度	
取組状況	平成23年度より補助金交付額の適正化に向けて実施しています。
中長期的に取り組むべき改善提案	事業内容や予算など費用対効果を精査して補助額の見直しを図りたいと思います。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	会費収入等自己負担金の増額により、補助金依存割合を少なくするよう各団体に促します。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	必要と判断できる社会教育団体に対して、活動助成金を補助していきたいと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	社会教育団体の運営に対して、適正であると判断できるものに活動助成補助の支払いをしていきたいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	補助対象事業にのみの助成とし、補助要綱に基づき適正に支払うこととし、事業実績報告を精査した上で返還していただくこともあります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	事業の変動がないことから現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	補助金の見直しについては、すでに終了しており、年次的に進めていきたいと考えます。また坂井市教育振興基本計画の実現に向けて、進捗状況を常に確認していきます。			
目標年度 平成25年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。			
目標年度 平成27年度				

【事業の成果】

成果	事業費補助率	%	目標値 33.3 達成率 33.3	目標値 73.5 達成率 41.9	目標値 57.4 達成率 125.83	目標値 43.8 達成率 131.53
活動	1人当たり自己負担金	円	目標値 10,000 達成率 10,000	目標値 7242 達成率 72.42	目標値 6015 達成率 60.15	目標値 6506 達成率 65.06
			目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値	
			目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値	
			目標値	達成率	目標値	達成率
			実績値		実績値	

事務事業名	市民運動推進事業			事業コード	10050115101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	坂本 里美
事業対象	坂井市民運動推進協議会会員・坂井市民運動に賛同する一般市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。				
	市民運動の優良実践者を表彰するとともに、子どもから大人まで気軽に取り組める花壇作りを推進し、花壇コンクールを行う。				
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費（市民運動・花壇コンクール表彰記念品代） 89千円</li> <li>○需用費（花壇用種子代、会議贈） 180千円</li> <li>○役務費（郵便料、筆耕料） 14千円</li> <li>○負担金 317千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あすの福井県を創る協会負担金 195千円</li> <li>・美しい坂井を創る協会負担金 122千円</li> </ul> </li> </ul>				

すぐにできる改善提案	地域美化を進める上での花いっぱい運動の推進をするため、花壇コンクールのみを市が主体となって行います。今後はまちづくり協議会の協力をお願いしながら事業を進める必要があります。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	179 千円	180 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	14 千円	8 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	406 千円	382 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	599 千円	570 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.80 人	5,687 千円	0.30 人	2,123 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.80 人	5,687 千円	0.30 人	2,122 千円	人	千円	人	千円
総事業費		6,286 千円	2,692 千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	145 千円	145 千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	6,141 千円	2,547 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	6,286 千円	2,692 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	坂井市市民憲章に根ざした事業として、着実に遂行していきます。			
実施主体の方向性	地域への移管を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	事業の内容を検証し、地域において進める事業については、まちづくり協議会に移管できるようにしていきたいと考えています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現在の費用を維持継続していきます。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域において進める事業については、まちづくり協議会に移管できるようにしていきたいと考えています。			
すぐにできる改善提案	地域において進める事業については、地域に移管できるようにしていきたいと考えています。また、坂井市教育振興基本計画に基づき、着実に遂行していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性、教育基本計画の実現に努めます。			
目標年度 平成27 年度				

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標値	300	300	300	300
			実績値	230	116	582	204
活動	市民運動被表彰者数	人	目標値	15	15	15	15
			実績値	11	12	16	7
活動	花壇コンクール参加団体数	団体	目標値	65	65	65	65
			実績値	55	53	68	66
活動	花の種配布地区団体数	団体	目標値	170	200	200	200
			実績値	128	133	170	237
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	公民館維持管理事業			事業コード	10050200101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	村中 秀也
事業対象	地域及び一般市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	有	坂井市公民館条例			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の適正な維持管理と運営の充実を図る。				
	全館に関わる報酬や賃金のほか、統一的去る委託業務や修繕は本庁において実施し、各館ではその他の維持管理を行う。				
事業の目的・事業の概要等	<p>◆本庁事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬等（公民館長報酬、手当、共済費）</li> <li>○賃金（臨時職員賃金）</li> <li>○需用費</li> <li>○役務費</li> <li>○委託料託料</li> <li>○使用料及び賃借料</li> <li>○工事請負費</li> <li>○備品購入費（施設用備品購入費）</li> <li>○負担金</li> </ul> <p>◆各公民館事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内26（本館23、分館3）公民館維持管理費</li> <li>○需用費、委託料他</li> </ul>				

すぐにできる改善提案	建設からかなりの年数を経過している館が多く、各種の点検においても指摘事項が多い。利用者が安心して利用できるよう一定程度の改善をしていくためには、毎年（5年計画位で）指摘事項対応の修繕費を一定額予算化するとともに、別枠で突発的な事態に対応できる予算を確保することが必要である。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	安全性を第1とし利便性や景観などを対象に、緊急性を重視した優先順位を元に修繕に取り組んでいる。	
中長期的に取り組むべき改善提案	施設が古くなっているため、耐震化を字視する必要がある。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	平成26年度に耐震診断を行い、その結果に応じた対応を平成27年度以降行う計画を検討している	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	41,400千円	41,061千円	千円	千円				
		委託費	32,206千円	1,484千円	千円	千円				
		需用費	44,900千円	2,937千円	千円	千円				
		役務費	5,426千円	611千円	千円	千円				
		その他	10,878千円	12,637千円	千円	千円				
	事業費合計	134,810千円	58,730千円	千円	千円					
	人件費	正職員	1.33人	9,455千円	0.83人	5,872千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.33人	9,455千円	0.83人	5,872千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	144,265千円	64,602千円	千円	千円				
		特定財源	国県支出金	216千円	216千円	千円	千円			
使用料・手数料		9,125千円	千円	千円	千円					
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		2,040千円	155千円	千円	千円					
一般財源	132,884千円	64,231千円	千円	千円						
財源合計	144,265千円	64,602千円	千円	千円						

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域の活動拠点としての公民館をコミュニティセンタ化に向け、地域住民が快適に利用できる施設と併せ、改築・改修・修繕などを行います。			
実施主体の方向性	市の関与を拡大します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	緊急性を要する施設を優先して行うよう、年次計画を立てて事業展開をしていきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	施設の充実を図るため、耐震診断を実施後に改築・改修・修繕をしていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	増員が必要と判断されれば、人員の増もしていきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市公共施設マネジメント白書、坂井市教育振興基本計画の実現に向け、適正に推進します。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性をとりながら、教育振興基本計画の実現に努めます。			
目標年度 平成27 年度				

事業の成果	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度				
	公民館年間利用者数	件	目標値	400000	達成率	394000	達成率	367000	達成率	355000	達成率
			実績値	400176	100.04	---	375380	102.28	349669	98.5	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
実績値											

事務事業名	公民館運営事業			事業コード	10050205101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	中田 誠一郎		
事業対象	地域住民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	社会教育法					
根拠例規	無	坂井市公民館条例					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換できる生涯学習の場を作り、地域の活性化を図る。						
	公民館講座の開設や公民館まつりの開催を行う。						
事業の目的・事業の概要等	◆本庁事業費 ○報償費（公民館職員研修講師謝礼） ◆各公民館事業費 市内26（本館23、分館3）公民館運営費 ○報償費 ○需要費 ○役務費 ○委託料 ○使用料及び賃借料						

すぐに行える改善提案	市が実施する講座は、地域住民のニーズの高い講座を実施し、自主講座については長く自主運営できるものに育てていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
妥当性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
効率性	【市の実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	220 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	2,311 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	257 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	3,592 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	6,380 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.00 人	7,109 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.00 人	7,109 千円	人	千円	人	千円	人	千円
総事業費	13,489 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	2,233 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	11,256 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	13,489 千円	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	地域の生涯学習の場、地域の活動拠点としての公民館として、適正な運営に努めます。また、市主催の生涯学習講演会を年1回開催し、多くの市民に学習の場を提供します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	教育振興基本計画に基づき、市が適正に実施します。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	新たな生涯学習講演会の実施に伴い、増加します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	人員増が必要と判断されれば、増員することも考えています。			
すぐに行える改善提案	坂井市教育振興基本計画書の実現に向け、進捗状況を確認していきます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を図りながら坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。			
目標年度 平成27 年度				

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	公民館講座（定期講座・短期）開催件数	件	目標値	150	達成率 150	達成率 150	達成率 150	
			実績値	141	94	158	105.33	151
活動	公民館利用団体登録者数	人	目標値	550	達成率 550	達成率 550	達成率 500	
			実績値	510	92.73	494	89.82	542
活動	定期講座・短期講座受講者数	件	目標値	10000	達成率 10000	達成率 10000	達成率 10000	
			実績値	8204	82.04	9196	91.96	8875
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

【事業の概要】

【担当者評価】

【事業のコスト】

【所属長評価】

【事業の成果】

事務事業名	公民館施設整備事業			事業コード	10050215101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	村中 秀也		
事業対象	一般市民及び利用者						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ハード事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	社会教育法					
根拠例規	有	坂井市公民館条例					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の整備を図る。						
	旧高椋公民館の解体整備をすることで、丸岡総合支所を含む高椋公民館利用者の利便性を図る。 ・解体工事（旧高椋公民館解体整地工事） ・土木工事（駐車場整備工事 30台分の増） ・建築工事（駐輪場他）						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	安全性と施設の維持を最優先に計画的修繕を行う。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	空調や雨漏りなど緊急性の高い順に計画的な修繕を施行している。また、利便性や景観性の悪い修繕箇所は状況を把握したうえで計画的修繕を行っている。		
中長期的に取り組むべき改善提案	昭和56年以降の建物を診断し、建物の状態に応じて計画的に改修・修繕を行う		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	平成25年度は春江中公民館の改修に伴う意見を取りまとめ、26年度に設計、27・28年度には改修する計画である。また、他の公民館においても平成26年度に計画している耐震診断を元に計画的な改修を推進していく計画である。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	11,078千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	204千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	168千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	37,265千円	515,458千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	37,265千円	526,908千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.02人	7,251千円	0.72人	5,094千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.02人	7,251千円	0.72人	5,094千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	44,516千円	532,002千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	14,718千円	159,760千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	333,500千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	29,798千円	38,742千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	44,516千円	532,002千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案				
目標年度 ー 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 ー 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	%	目標値	50	達成率 50	達成率 0	達成率
		実績値	50	100	50	100
活動	千円	目標値	41000	達成率 60000	達成率 60000	達成率
		実績値	37000	90.24	60000	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		達成率	達成率	達成率

事務事業名	国際交流派遣事業			事業コード	10050400106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国際交流・地域交流の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	渡航業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	国際理解教育の一環として、市内中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイや授業参加を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる人材を育成する。				
	<p>【交流先】 英国 ウェールズ カーディフ市          プラスマウルコンプリヘンシブスクール他1校</p> <p>【参加者】 坂井市内の中学2年生を対象に参加者を募集し、選考により25人の団員を決定する。          （一次選考 作文、二次選考 面接）</p> <p>【引率者】 5人（団長、引率教諭2人、事務局2人）</p> <p>【派遣期間】 3月中の10日間</p> <p>【事前研修】 10回程度（語学研修、全体研修）</p> <p>【参加者負担】 200,000円×25人</p> <p>○報償費（選考委員・研修指導者謝礼他） 145千円          ○旅費（引率者日当） 189千円          ○需用費（研修時の消耗品費、食糧費他） 192千円          ○委託料（渡航業務委託料） 8,282千円          ○使用料及び賃借料（携帯電話使用料、研修施設使用料） 24千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	国際交流派遣事業を通して英語力、ホームステイで異文化を体験して国際化に対応できる人材を育てます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市内の中学校の英語科の先生やALTに協力を求め、ホームステイや日常生活などで必要な英会話を学ぶとともに、英語で話すことや異文化体験をすることに対する積極的な姿勢を育てられるような研修をしています。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	国際交流推進費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	8,281千円	8,064千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	192千円	165千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	20千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	358千円	357千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	8,831千円	8,606千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.55人	3,910千円	0.75人	5,306千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.55人	3,910千円	0.75人	5,306千円	人	千円	人	千円
総事業費		12,741千円	13,912千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	4,850千円	5,000千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	7,891千円	8,912千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		12,741千円	13,912千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	参加希望をする中学生は年々増加傾向にあり、国際理解教育の一環として、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	参加希望の生徒たちの選考、引率等は行政が介入しなくては運営できないと考えられます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	参加者から負担金を徴収し、総事業費の半分弱を公費で負担しています。受益者負担の観点から適当なものであると思われます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	大きな変動がない限り、現状を維持したいと考えています。			
すぐにできる改善提案	受益者負担金を「補助金見直し」同様に、総事業費の2分の1にする方向で検討の余地があります。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に従い事業を実施していきます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	参加者の成長度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100
成果	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100
活動	参加者数	人	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率
			実績値	25	100	25	25	25	25
活動	事前研修の実施回数	回	目標値	14	達成率	14	達成率	14	達成率
			実績値	14	100	14	100	13	14
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	国際交流招聘事業			事業コード	10050400111
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国際交流・地域交流の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	招へい者の移動方法、宿泊先の手配業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	国際社会に生きる児童・生徒の資質向上をめざし、英国派遣の交流先であるカーディフ市の生徒を招へいし、ホームステイや日本の学校生活の体験を通して、相互の生徒の国際的な視野を広める。				
	<p>【期間】 平成24年7月5日(木)～7月12日(木)</p> <p>【招へい者】 英国生徒 17人 引率者 2人</p> <p>【交流の内容】 坂井市市内でのホームステイ、中学校での交流会と授業参加</p> <p>【英国生徒および引率者の受け入れ家庭】 19家族</p> <p>○需用費（研修時の消耗品費、食糧費他） 262千円</p> <p>○委託料（事業運営委託料） 971千円</p>				

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	国際交流推進費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	971千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	261千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,232千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.30人	2,133千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30人	2,133千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
総事業費	3,365千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	3,365千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	3,365千円	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の成果	指標名		単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
	成果	受け入れ家庭の満足度	家庭	目標値	19	達成率	達成率	24	達成率	
				実績値	19	100		24	---	
	成果	交流会への参加者数	人	目標値	60	達成率	達成率	達成率	60	達成率
				実績値	53	88.33		130	---	
	活動	受け入れ家庭への説明会の回数	回	目標値	2	達成率	達成率	達成率	2	達成率
				実績値	2	100		2	---	
	活動			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値						
				目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
実績値										
			目標値		達成率	達成率	達成率	達成率		
			実績値							

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	隔年での取り組みを交流先と相談して、毎年の交流にしていきたいと思っています。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	現在は1年おきの交流。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市内中学生を英国派遣する交流先のカーディフ市の中学生を受け入れる事業として、当市が英国派遣事業を行う限り継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市が行うことが適当であると考えられます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	当市、カーディフ市の生徒たちの交流事業に要する経費であり、カーディフ市でも同様の扱いを受けていることから必要だと考えられます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状で十分と判断できます。			
すぐにできる改善提案	特に改善すべき点はないものと思われず。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき継続的に実施していきます。			
目標年度	平成29	年度		

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	子ども会育成事業			事業コード	10050500101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	岡田 浩一		
事業対象	市民（坂井市内の子ども「3歳児から高校3年生」、子ども会育成者・指導者、ジュニアリーダー・シニアリーダー）						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、坂井市子ども会育成連絡協議会会則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	<p>幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を図ることを目的としています。</p> <p>「坂井市子ども会育成連絡協議会」を事業主体として、「坂井地区子ども会育成連絡協議会」や「各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブ」と連携・協力し、子ども会活動の支援や組織の育成を図ります。</p> <p>【坂井市子ども会育成連絡協議会の主な事業】 ・壁新聞コンクール ・ドッジボール大会 ・かるた大会 ・育成者研修会他</p> <p>【各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブの主な事業】 ・ソフトボール大会 ・ジュニアリーダー研修会 ・各単位子ども会活動の支援他</p> <p>○負担金 153千円 ・坂井地区子ども会育成連絡協議負担金 90千円 ・県子連団体会費 63千円</p> <p>○補助金 1,984千円 ・坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金</p>						
	事業の目的・事業の概要等						

【事業の概要】

【事業のコスト】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費					
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,137千円	2,137千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,137千円	2,137千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.65人	4,621千円	0.67人	4,740千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.65人	4,621千円	0.67人	4,740千円	人	千円	人	千円	
		総事業費		6,758千円	6,877千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費	特定財源		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		6,758千円	6,877千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		6,758千円	6,877千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	子ども会安全会加入率	%	目標値 62 達成率	62 達成率	62 達成率	62 達成率
		実績値	57.9 93.39	57.6 92.9	57.3 92.42	54.3 87.58
活動	専門部会の開催回数	回	目標値 4 達成率	4 達成率	4 達成率	4 達成率
		実績値	3 75	2 50	4 100	3 75
活動	育成者研修会参加者数	人	目標値 280 達成率	280 達成率	280 達成率	200 達成率
		実績値	218 77.86	182 65	184 65.71	150 75
活動	壁新聞コンクール出品数	点	目標値 160 達成率	160 達成率	160 達成率	160 達成率
		実績値	143 89.38	119 74.38	136 85	143 89.38
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

すぐにできる改善提案	子ども会育成者は1交代なので、毎年育成者研修会を実施する必要があります。そうすることで単位子ども会の意義を各子供会に周知し、理解を得られると思います。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	各町子連総会時に育成者研修会を実施しており、今後も継続します。
中長期的に取り組むべき改善提案	対象となる子供・育成者・指導者のニーズを把握する為、アンケート等を実施する必要があります。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	一部の事業（ジュニアリーダー研修会外）においてはアンケート調査を実施していますが、全体的なニーズについてはまだ把握しておりません。

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を図ることための事業として、継続して実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおりが適当だと考えられます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	健全な子ども会育成事業として、継続して維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	今後においても、担当職員・ジュニアリーダーとともに事業を進めます。			
すぐにできる改善提案	子ども会活動の指導者としてのジュニアリーダーの育成に赴きをおき、人員増に努める必要があると思われます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき事業を推進していきます。			
目標年度 平成27 年度				

事務事業名	成人式事業			事業コード	10050500106		
所管部署	生涯学習スポーツ課		電話	50-3162		記入者名	杉田 和也
事業対象	年度内に20歳を迎える、市民および以前市内に住んでいたことのある人で参加を希望する人						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容	無	
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	新成人の門出を祝福するとともに、参加した新成人一人一人が成人したことを自覚し、これからの社会の中で自主的・協力的に行動するように促す。						
	広報紙・ホームページなどを通じて実行委員を募集し、新成人自らが実行委員となり式典やアトラクション、記念品などの企画・運営を行う。						
【事業の目的・事業の概要等】	○報償費（実行委員謝礼、記念品ほか） 693千円 ○需要費（式典消耗品、食糧費、印刷製本費） 172千円 ○役務費（郵便料、手話通訳派遣料ほか） 123千円 ○使用料及び賃借料（会場使用料） 126千円						

【前年度改善案に対する取組状況】	すぐに行ける改善提案 目標年度 未設定 年度 取組状況 中長期的に取り組むべき改善提案 目標年度 未設定 年度 取組状況	・参加者のニーズの把握に努め、より多くの新成人が参加しやすくなるような成人式を目指します。 ・当日の人員配置や案内板等を見直し、必要最低限の人員で効率的に式典を開催できるように検討します。 ・新成人がこれからの社会の中で自主的・協力的に行動できるよう自覚を促す成人式を目指します。 ・前年度の反省を踏まえ、人員配置および看板配置を見直しました。 ・新成人による実行委員会を組織することでニーズを把握し、また自分たちの手で成人式を企画・運営していくことで、新成人全体の自主性や協調性を育みます。
------------------	---	--

【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【妥当性】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円			
			需用費	172千円	140千円	千円	千円			
			役務費	123千円	123千円	千円	千円			
			その他	819千円	907千円	千円	千円			
	事業費合計	1,114千円	1,170千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.61人	4,336千円	0.70人	4,953千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.61人	4,336千円	0.70人	4,952千円	人	千円	人	千円
総事業費	5,450千円	6,122千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	千円	千円	千円					
	一般財源	5,450千円	6,122千円	千円	千円					
財源合計	5,450千円	6,122千円	千円	千円						

【所屬長評価】	事業の方向性 判断事由 実施主体の方向性 判断事由 コスト投入の方向性 判断事由 人員投入の方向性 判断事由 すぐに行ける改善提案 目標年度 ー 年度 中長期的に取り組むべき改善提案 目標年度 平成29 年度	このまま継続します。 成人式に参加した新成人一人一人が大人を自覚し、これからの社会の中で自主的・協力的に行動するように促す事業として、継続していきます。 現状どおり実施します。 成人式実行委員会のメンバーを公募して組織し、市職員と協力しながら式典・アトラクション等の企画行っている。よって現状維持の方向で進めたいと考えます。 現状を維持します。 成人1名当たり1,600千円の経費であり、大掛かりな事業ではあるが安価であることは評価できるもの考えます。 現状維持でいきたいと考えています。 特に改善するものはないものと思われず。 坂井市教育振興基本計画に基づき、事業を実施していきたいと考えます。	目標年度 平成27 年度を目安 目標年度 平成27 年度を目安 目標年度 平成27 年度を目安 目標年度 平成27 年度を目安
---------	---	--	--

【事業の成果】	成果	式典参加率	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
			目標値	85.0	達成率	85.0	達成率	85.0	達成率	85.0
	実績値	79.1	93.06	81.7	96.12	82.7	97.29	82.6	97.17	
	活動	実行委員数	目標値	16	達成率	16	達成率	16	達成率	16
			実績値	16	100	14	87.5	13	81.25	18
	活動	ホームページ・広報掲載回数	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率	6
			実績値	6	100	5	83.33	5	83.33	5
	活動	ボランティア参加者数	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12
			実績値	9	75	9	75	10	83.33	7
				目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							

事務事業名	わんぱく少年団事業			事業コード	10050500111		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	栗田 ゆうこ		
事業対象	坂井市在住の小学5・6年生						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	坂井市および県内の自然の中で様々な体験を行うことにより、自立の精神を育み、その上で仲間とコミュニケーションをとりながら協力する大切さを学ぶ。また、坂井市の豊かな自然に触れ合うことによって、ふるさとを大切にす健やかな心身を育成する。						
	坂井市在住の小学校5、6年生30人を対象に募集し、シュノーケリングやキャンプ、クロスカントリースキー等、自然を通じた活動を10回実施した。						
事業の目的・事業の概要等	○報償費（講師謝礼） 10千円 ○需用費（活動用消耗品費、食糧費） 100千円 ○使用料及び賃借料（施設使用料、機材借上料） 19千円						

すぐにできる改善提案	子どもたちが将来にわたって活かせるような自主性と協調性を身につけられるように仲間と協力して行うメニューを多く取り入れるよう努めます。また、家庭ではできないような活動を中心に自然と触れ合える機会を提供していくよう努めます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	毎回の活動のメニューを、班ごとで行うメニューとし、仲間と協力しなければいけないものを多く取り入れました。その結果、自ら仲間に声をかけ、協力する子どもたちの様子を見ることができ、子どもたちも「誰とでも話せるようになった」と自分たちの成長に気付くことができました。また、シュノーケリング、キャンプ、クロスカントリースキーなど、海、山などへ出かけて行き、家庭ではできないような自然の中での活動を積極的に取り入れました。
中長期的に取り組むべき改善提案	10回の活動を通して得られた知識や自信を次の活動ステージに繋げていき、次世代のリーダーの育成を行います。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	次の活躍場所として、ジュニアリーダーとしての活動が考えられます。教えられる立場から教える立場になるわけですが、現ジュニアリーダーと関わる活動を持ち、ジュニアリーダーの役割を理解してもらいました。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	100 千円	106 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	29 千円	49 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	129 千円	155 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.31 人	2,204 千円	0.55 人	3,891 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.31 人	2,204 千円	0.55 人	3,891 千円	人	千円	人	千円
総事業費	2,333 千円		4,046 千円		千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	千円		千円		千円	千円	千円	千円	
	国県支出金	千円		千円		千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円		千円		千円	千円	千円	千円	
	分担金・負担金	千円		千円		千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円		千円		千円	千円	千円	千円	
	その他	86 千円		83 千円		千円	千円	千円	千円	
一般財源	2,247 千円		3,963 千円		千円	千円	千円	千円		
財源合計	2,333 千円		4,046 千円		千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	自然の中で様々な体験を通して自立の精神を育み、仲間とのコミュニケーションにより協力する大切さを学ぶ事業として継続して実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	参加した子供たちが、次世代のリーダーとして育成されることを期待されることから、継続して実施していきたいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	宿泊研修など10回講座として自己負担を徴収し実施。親のアンケートの回答では事業の評価が高いことから継続していきたいと考えています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	大幅な事業の変更がない限り、現状維持で実施します。			
すぐにできる改善提案	事業内容により県内にある青少年の家を選択する中で、交通手段・運行距離により受益者負担金を見直す余地はあると考えられます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に沿って実施していきます。			
目標年度 平成27 年度				

事業の成果	成果	参加者の満足度	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
			目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100
	実績値	100	100	100	100	100	100	100		
	成果	募集定員（30人）に対する申込者数の割合	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100
			実績値	100	100	100	100	54.3	100.0	
	活動	1回あたりの参加団員数の割合	目標値	90	達成率	90	達成率	90	達成率	90
			実績値	88.5	98.33	81.7	90.78	78.4	71.1	
				目標値		達成率		達成率		達成率
				実績値						
				目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							

事務事業名	青少年育成坂井市民会議事業			事業コード	10050500116
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	辻本 史貴
事業対象	青少年市内の青少年及び青少年育成指導者、ボランティア				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、青少年育成坂井市民会議育成事業事務要項			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年育成坂井市民会議を支援します。				
	<p>青少年育成坂井市民会議に対し補助金を交付し、健全な青少年を育成するための事業を実施します。同市民会議は公民館単位の23支部で構成し、総会・理事会において市民会議の活動方針を決定します。同市民会議では、「心の教育講演会」や青少年健全育成推進大会」等を中心とした事業を展開し、市全体の健全育成を推進します。各支部においては、地域の実情に応じた活動を行い地域の青少年の健全育成を推進します。</p> <p>・心の教育講演会…「地域の子どもは地域が守り育てる」との認識のもと、青少年の健やかな成長を願い、その環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの豊かな心を育むために講演会を開催する。</p> <p>・青少年健全育成推進大会…青少年の健全な育成についての市民意識の高揚を図る。</p> <p>○青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円</p>				

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			その他	2,126千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	事業費合計	2,126千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源			10,301千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	10,301千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果 賛助会員数	件	目標値	276	達成率 276	達成率 276	達成率 276		
		実績値	177	64.13	205	74.28	214	77.54
成果		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値		---	---	---	---	---
活動 支部事業数	件	目標値	115	達成率 115	達成率 115	達成率 115	達成率 115	
		実績値	118	102.61	125	108.7	110	95.65
活動 青少年健全育成推進大会来場者数	人	目標値	200	達成率 200	達成率 200	達成率 200	達成率 200	
		実績値	184	92	158	79	161	80.5
活動 心の教育講演会来場者数	人	目標値	200	達成率 200	達成率 200	達成率 200	達成率 200	
		実績値	108	54	81	40.5	103	51.5
活動 会長表彰被表彰者・被表彰団体数	件	目標値	10	達成率 10	達成率 10	達成率 10	達成率 10	
		実績値	8	80	6	60	9	90

すぐに行ける改善提案	更なるニーズ・効果の把握に努め、市民会議の事業内容を精査し、より効果的な事業を展開するよう促していきます。特に、事業を積極的に周知・広報し、より多くの市民の参画を得て、市民一人ひとりが青少年の健全育成に努めるよう働きかけていきます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	心の教育講演会においてアンケートを採るなど、ニーズ・効果の把握に努めました。推進大会では、小学生の太鼓団を取り上げることに伴い、市内全域にその活動を周知し、青少年育成活動を広めることに貢献することができました。また、市民会議の活動と青少年の健全育成に多くの方に興味を持っていただくために賛助金を集め、賛助金活用事業の広報にも努めました。
中長期的に取り組むべき改善提案	講演会や推進大会等の市民会議事業を、市内の幅広い方々に来場していただけるように努める。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	毎年、開催会場を変えることによって、各地区の市民の方が来場しやすいように事業を開催している。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	青少年の健全な育成を図ることを目的とした青少年育成坂井市民会議による事業等が確立・継続されていることから、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	青少年育成坂井市民会議の会員による青少年問題の持つ重要性に鑑みた次代を担う青少年の健全な育成を図るため、継続して支援していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	青少年健全育成支援のための活動を活発に行っていたりしていることから、現状維持と考えています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持とします。			
すぐに行ける改善提案	一部の団体においては足並みが揃わないもの見受けられることから、連絡調整を十分に図るよう指導していきたいと考えます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき事業を進めます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事業コード	10050500121
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	栗田 ゆうこ
事業対象	市内の小学生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	坂井市放課後子ども教室実行委員会
根拠法令	無				
根拠例規	有	放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱 他			
関連計画・マニュアル	有	坂井市次世代育成支援行動計画			
事業の目的・事業の概要等	放課後や週末等に安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域の交流活動等の機械を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。				
	坂井市放課後子ども教室実行委員会に業務を委託し、主に公民館において学習補助、文化芸術体験、世代間交流など地域のボランティアの協力を得ながら、地域に応じた教室を実施する。  (補助率) 国 1/3 県 1/3 国補助限度額あり 放課後子ども教室実行委員会委託料 3,493千円				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	現在は、それぞれに地域の実情に応じて実施していますが、さらに充実した内容やコスト削減を目指すために、担当者同士で集まり、情報交換や内容の検証を行います。	
目標年度 平成24 年度		
取組状況	事業当初に担当者のヒアリングを行い、目的の再確認と内容が目的と一致しているか検証を行いました。また同時にコスト削減ができないか協議を行いました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	子どもたちが子どもらしく健やかに成長するには、放課後の遊び方や過ごし方をどのようにすればよいのか、関係機関で話し合い、子どもたちにふさわしい場所と時間を提供するように努めます。	
目標年度 平成26 年度		
取組状況	子どもの放課後や週末の過ごし方は多様化していますが、少しでも多く安心・安全な場所を提供できるよう実施回数を増やすことに努めています。また、内容も子どもたち同士の遊びの提供や、外での活動など、家で過ごすだけでは得られないような体験を提供するように心がけています。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	3,493	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	3,493	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.38 人	2,701 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.38 人	2,701 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,194	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	1,777	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		4,417	千円	千円	千円	千円				
財源合計	6,194	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために、継続して事業を推進する必要があると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	子供たちの参加者が年々増加していることから、現状を維持して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国・県の各1/3の補助金によって賄われていることから、市も同様に補助し、事業を進めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	継続して、学習アドバイザーや安全管理員の協力を得て、事業を進めます。			
すぐに行える改善提案	子供たちへの対応を再考し、適正な事業遂行に努めます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画及び次世代育成支援行動計画に基づき、改善案の模索に努めていきます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

事業の成果	指標名		単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	成果	事業実施教室数	教室	目標値	26	達成率	26	達成率	26	達成率	26	達成率
				実績値	25	96.15	23	88.46	23	88.46	23	---
	活動	子どもの参加者数	人	目標値	19500	達成率	19500	達成率	19500	達成率	19500	達成率
				実績値	14552	74.63	17324	88.84	16189		14958	
	活動	実施回数	回	目標値	1300	達成率	1300	達成率	1300	達成率	1300	達成率
				実績値	1132	87.08	1337	102.85	1272		1109	
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値									

【事業の成果】

事務事業名	合宿通学事業		事業コード	10050500126	
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	岡田 浩一
事業対象	坂井市内小学生4~6年生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	坂井市合宿通学事業実行委員会がすべて運営
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市合宿通学事業実施要項				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	<p>家庭を離れ、合宿生活を体験することで、日常生活における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てることを目的としています。また、地域の方々の協力を得て行うことにより、子どもと地域の結びつきの強化を図ることも期待できます。</p>				
	<p>地域のボランティアグループ・公民館・学校から組織する坂井市合宿通学事業実行委員会に事業実施を委託しています。</p> <p>【実施内容】 公民館での共同宿泊体験、調理、洗濯、食事の準備・後始末  【対象校】 高棕・春江・大関・明章・三国西小  【実施期間】 全年：3泊4日  【募集人数】 原則として各校20名～50名の定員にしております。  （宿泊公民館の立地条件や参加希望者数等から総合的に判断して決定）</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	各地区で、新たに協力していただけるボランティアの確保に努める必要があります。	
目標年度 平成25 年度		
取組状況	各地区の公民館・まちづくり協議会を中心にボランティアを確保しています。	
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、まちづくり協議会等の地区市民団体と市との役割分担を見直して事業を開催することが可能か検討する必要があります。	
目標年度 平成26 年度		
取組状況	平成25年度の事業実施後に検討委員会を設けて、26年度からの運営について諮ります。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,457	千円	1,780	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,457	千円	1,780	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.23	人	8,744	千円	1.40	人	9,905	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	1.23	人	8,744	千円	1.40	人	9,905	千円
総事業費	10,201	千円	11,685	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	10,201	千円	11,685	千円	千円	千円			
財源合計	10,201	千円	11,685	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市内の4年生児童を対象として、合宿生活を体験によって自主性、協調性を育てることを目的として行っており、参加希望児童も多いことから継続して実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	保護者アンケートでも評価が高いことから、現状を維持しながら継続して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	食費等に関しては自己負担分を徴収して実施していることから、今後も同様に行っていきたいと考えます。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市が主体となって、地域のボランティアの協力を得ながら実施しているが、4泊5日と期間が長く、職員の負担も大きいことから、有償ボランティア等の採用など一部見直す必要があります。			
すぐに行ける改善提案	市が主体となって、地域のボランティアの協力を得ながら実施しているが、4泊5日と期間が長く、職員の負担も大きいことから、有償ボランティア等の採用など一部見直す必要があります。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	新教育振興基本計画に基づき、実施していきたいと考えます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率
			実績値	94.0	94	93.2	93.2
活動	参加者数	人	目標値	250	達成率	250	達成率
			実績値	157	62.8	251	100.4
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				

事務事業名	坂井・延岡ジュニア交流事業			事業コード	10050500131
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	杉田 和也
事業対象	市民（小学5・6年生）				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国際交流・地域交流の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	無
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校5・6年生児童を対象に両市の名勝旧跡の見学や体験学習を通して人的交流を図る。				
	延岡市の小学生を坂井市に招聘し、両市の小学生と一緒に坂井市を体験します。（一年おきにお互いを訪問し合います。）				
事業の目的・事業の概要等	参加者 坂井市内の児童(5,6年生) 20人 坂井市PTA連合会 3人 事務局 3人				
	○報償費（記念品） 25千円 ○需用費（活動用消耗品費、食糧費） 203千円 ○役務費（郵便料、傷害保険料） 13千円 ○使用料及び賃借料（施設使用料、入場料） 356千円				

すぐに行ける改善提案	坂井市PTA連合会の協力を得て実施し、市の負担を軽減する。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市PTA連合会のみならず、坂井市応援隊（市内ボランティア団体）の協力を得て実施したことで負担軽減および交流の深化が図られた。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	871千円	千円	千円	千円			
		需用費	203千円	38千円	千円	千円				
		役務費	12千円	千円	千円	千円				
		その他	382千円	19千円	千円	千円				
	事業費合計	597千円	928千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.45人	3,199千円	0.38人	2,689千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.45人	3,199千円	0.38人	2,688千円	人	千円	人	千円
総事業費	3,796千円	3,616千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	400千円	千円	千円					
	一般財源	3,796千円	3,216千円	千円	千円					
財源合計	3,796千円	3,616千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	姉妹都市である宮崎県延岡市と本市との交流事業として、市内の小中学校5・6年生児童を対象に両市の人的交流を図る上では、有効な事業であると判断できます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市・PTA連合会が主体となって実施しており、児童だけでなく、互いの交流にも寄与していることから、継続して実施していきたいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	延岡への訪問時には派遣児童から負担金を徴収して実施しており、市の負担金も支出するが、事業の継続をする上では、やむを得ないと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	人員的には現状維持でよいと考えます。			
すぐに行ける改善提案	将来的には、市の事業からPTA連合会の事業として実施できないかと考えています。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	旧丸岡町からの事業であるが、児童は市内の児童を対象としており、坂井市教育振興基本計画に則り、長期的に実施していくべきと考えます。			
目標年度 平成27 年度				

【所属長評価】

成果	参加者満足度	%	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
			目標値	100	達成率	100	達成率	達成率	達成率
活動	参加者の事前研修の回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率	達成率	達成率
			実績値	1	50	2	100		
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						

【事業の成果】

事務事業名	心の家庭教育支援事業			事業コード	10050505101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	地域や学校との連携を強化し、より良い支援を体制作り、市全体への支援の拡充を図ります。						
	元教員、元保育士、子育て経験者である家庭教育支援チーム員による、相談会、広報誌の発行、子育て講座や子育て懇談会を開催する。						
事業の目的・事業の概要等	<p>【平成24年度の対象校区】 前年度の対象校など継続を希望する学校も訪問  三国地区：三国南、三国北小学校  丸岡地区：長畝、平章小学校  春江地区：春江東小学校  丸岡地区：木部小学校</p>						

すぐにできる改善提案	地域や学校との連携を強化し、より良い支援を体制作り、市全体への支援の拡充を図ります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地区に在住の支援チーム員が学校を訪問する直野活動をしているため、地域の人と子供たちの交流や信頼関係が生まれてきています。また、学校とはよりよい支援体制づくりのため、活動についてのご意見を伺っています。今後も学校との連携を強めていきたいと考えています。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	34 千円	35 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,020 千円	793 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,054 千円	828 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.38 人	2,701 千円	0.43 人	3,042 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.38 人	2,701 千円	0.43 人	3,042 千円	人	千円	人	千円
総事業費		3,755 千円	3,870 千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	3,755 千円	3,870 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	3,755 千円	3,870 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	家庭教育支援チームによる、子を持つ親・子供のみの相談、広報誌の発行、子育て講座や子育て懇談会を行い、家庭教育を支えていく事業であり、現状維持により継続していくべきと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	過去に保育師や幼稚園教諭、学校教諭経験者で「坂井市家庭教育支援チーム」を結成して、子育て講座・子供相談室を開設している。相談日を増やすなど積極的に実施していることから、継続して実施していきたいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	モデル校を選定した講演会の謝礼、チーム員の短時間の手当てのみですが、大きな事業の変動がない限り現状維持でいきたいと考えています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状を維持しながら事業を進めたいと考えています。			
すぐにできる改善提案	事業の成果が数値で表せるものではないことから、相談にきた児童・保護者に対してのアンケートを実施したいと考えます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に沿った事業の展開を進めていきたいと考えます。			
目標年度 平成27 年度				

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	広報紙の発行回数	回	目標値	4	達成率 6	達成率 6	達成率 6
			実績値	4	100	4	6
活動	子育て講座の開催数	回	目標値	19	達成率 19	達成率 19	達成率 25
			実績値	6	31.58	7	12
活動	子ども相談室の開催数（一地区あたり平均値）	回	目標値	36	達成率 36	達成率 36	達成率 10
			実績値	59	163.89	52	144.44
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	愛護センター事業			事業コード	10050600101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	坪田 三津夫
事業対象	市内の青少年				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	坂井市青少年愛護センター条例			
根拠例規	有	坂井市青少年愛護センター条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	青少年の実態を把握し、非行防止と健全な育成を促進する。				
	【非行防止】 補導員による巡回・声かけによる早期発見 【浄化活動】 有害図書に関する調査・指導、白いポストの回収廃棄 【相談業務】 児童・生徒や保護者及び教師の相談業務 【健全育成】 懇談会、研修会の開催や地域との合同パトロール、啓発活動の実施 【安全対策】 青色回転灯装着車による巡回による見守り活動				
事業の目的・事業の概要等					

すぐに行ける改善提案	地域団体と連携した、青少年の健全育成が必要と考えます。まちづくり協議会などへ出向き、地域との連携を模索する必要があると考えます。また、一般補導員の連携を強固にするため、地区懇談会の継続開催や「あいごメール」を利用した連絡強化を図っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	一般補導員の確保については、PTA役員への継続周知や各種団体との連携を図ることで、一般補導員の確保も目指していく考えです。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年愛護センター費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	305	千円	301	千円	千円	千円		
		需用費	743	千円	863	千円	千円	千円		
		役務費	88	千円	97	千円	千円	千円		
		その他	1,131	千円	1,231	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,267	千円	2,492	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.35	人	2,488	千円	0.20	人	1,415	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.35	人	2,488	千円	0.20	人	1,415	千円
	総事業費	4,755	千円	3,907	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支支出金	401	千円	401	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		4,354	千円	3,506	千円	千円	千円			
財源合計	4,755	千円	3,907	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	青少年の実態を把握し、健全な育成を促進することを目的として各種事業を展開しています。よって現状維持により実施していきたいと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	条例に基づく坂井市青少年愛護センターを設置して、事務局長・専任補導員・カウンセラーにより事業を展開しており、現状を維持していきたいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持により進めたいと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持により進めたいと考えます。			
すぐに行ける改善提案	まちづくり協議会などの地域団体と連携した、さらに積極的な青少年の健全育成が必要と考えます。また、一般補導員の連携を強固にするため、地区懇談会の継続開催などの連絡強化が必要だと考えます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	PTA役員への継続周知や各種団体との連携を図り、一般補導員の確保により更なる充実が必要だと考えています。			
目標年度 平成27 年度				

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	一般補導員延べ出務回数	回	目標値	1200	達成率	1200	達成率	
			実績値	1385	115.42	1500	125	1404
成果	少年等相談件数	件	目標値	200	達成率	200	達成率	
			実績値	289	144.5	393	196.5	378
活動	一般補導員出務回数	回	目標値	1500	達成率	1500	達成率	
			実績値	1385	92.33	1500	100	1404
活動	白いポスト回収点数	点	目標値	1000	達成率	1000	達成率	
			実績値	1263	126.3	1518	151.8	1014
活動	会議・研修会開催数	回	目標値	7	達成率	7	達成率	
			実績値	10	142.86	6	85.71	7
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業			事業コード	10060105101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	西出 政男
事業対象	坂井市民・体育指導委員				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	スポーツ振興法			
根拠例規	有	坂井市体育指導委員に関する規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			
事業の概要	スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力などを行い、市のスポーツ振興を図る。				
	<p>【部会内容】 スポーツ推進委員 47名          総務部会：委員の広報活動、総合型地域スポーツクラブの育成及び推進          事業部会：各種スポーツ行事、大会企画、運営及び指導          研修部会：市民、体育指導委員の資質向上に寄与する研修・講習会の企画</p> <p>その他、団体や地域からの依頼により、ニュースポーツ・体力測定・マリン体操の派遣指導・協力を行う。</p> <p>○報酬（スポーツ推進委員報酬） 1,504千円          ○旅費（北陸地区スポーツ推進委員研修会） 63千円          ○需用費（ユニホーム代、啓発） 635千円          ○役務費（傷害保険料） 87千円          ○負担金（県協議会負担金、研修参加負担金他） 95千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	ニュースポーツ・スポーツレクリエーションの普及等を中心に、事業の内容・周知についてスポーツ推進委員と協議し、より良い事業の企画・実施をしていくことにより、生涯スポーツの推進に努めます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	スポーツ推進委員考案のマリン体操の普及に努め、各学校・地区行事への派遣指導を行うとともに、スポーツ教室・大会開催によりニュースポーツの普及啓発に努めています。また、ケーブルテレビによるマリン体操・ニュースポーツの紹介を行い、マリン体操やニュースポーツによる生涯学習の推進に取り組んでいます。
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	1,504千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	635千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	87千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	158千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	2,384千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	5,867千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	5,867千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	5,867千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	スポーツ推進委員によるスポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力・実施など、市民の健康づくりに努めています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	47名のスポーツ推進委員により、スポーツの推進や誰でも参加できるニュースポーツの普及など、市民の健康づくりを進めている状況にあり、現状を維持していきたいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきたいと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきたいと考えます。			
すぐに行ける改善提案	スポーツ推進委員が中心となって、常に事業の内容や市民への周知をより良い事業の企画・実施をしていくことが必要だと考えます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	23年度から10年先を見据えた「坂井市スポーツ振興基本計画」に基づき、改善点を模索しながら事業を展開していきたいと考えます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	スポーツ推進委員派遣指導依頼回数	回	目標値	25	達成率	21	達成率	20	達成率
			実績値	28	112	28	133.33	18	69.23
活動	研修回数	回	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率
			実績値	4	66.67	6	100	6	100
活動	会議回数	回	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率
			実績値	29	116	41	164	38	152
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	保健体育事務事業			事業コード	10060110101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	矢尾 昭宏		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。						
	スポーツ振興審議会事業： スポーツ推進に関する重要事項について調査審議し、市教育委員会に建議する目的により設置されます。 各種協議会等負担金助成事業： 各種協議会等に対し、負担金助成を行っている。						
事業の目的・事業の概要等							

すぐに行える改善提案	このまま継続します		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	次回（平成27年度）検定に向けて指定管理者である公益財団法人坂井市体育協会と連携して計画的に整備を行い、継続公認が認定されるよう努める。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	3千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	423千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	426千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,914千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,914千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		2,914千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	スポーツ振興を図るためのスポーツ審議会の開催、各種協議会に対するの助成を行うものであり、今後とも継続していきたいと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市が主体となって行うものであり、継続して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	適正なものと判断し、現状を維持していきたいと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	次回（平成27年度）検定に向けて指定管理者である公益財団法人坂井市体育協会と連携して計画的に整備を行い、継続公認が認定されるよう努める。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、改善案を見極めながら事業を推進していきます。			
目標年度 平成27 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	陸上競技場2種継続検定の可否	目標値		達成率		達成率
		実績値				
活動	各種協議会負担金助成額	目標値	9000	達成率	9000	達成率
		実績値	9000	100	9000	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ大会運営事業			事業コード	10060200101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	西出 政男		
事業対象	大会参加者・大会実施団体						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	大会運営事業		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	有 坂井市スポーツ振興基本計画						
事業の概要	誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。						
	<p>【生涯スポーツの推進】 市民の生涯にわたるスポーツライフの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリー</li> <li>・ニュースポーツ教室</li> <li>・坂井市古城マラソン</li> <li>・坂井市民スポーツ祭</li> </ul> <p>○需用費（大会消耗品費、食糧費） 79千円 ○役務費（傷害保険料） 46千円 ○委託料 4,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市古城マラソン 2,500千円</li> <li>・坂井市民スポーツ祭 2,300千円</li> </ul> <p>【市内で開催されるスポーツ大会の振興】 市内外のチームとの試合を通じ、技術・競技力の向上及び地域間の交流</p> <p>○補助金 672千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市古城カップサッカー大会補助金 572千円</li> <li>・坂井地区高等学校野球連盟事業補助金 100千円</li> </ul>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	現状のまま継続します。補助金については、見直しに合わせ検討していきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供するため、各種大会の開催及び市内開催大会への補助を実施しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	4,800千円	4,870千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	78千円	112千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	46千円	8千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	672千円	685千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	5,596千円	5,675千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.35人	2,488千円	0.31人	2,193千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.35人	2,488千円	0.31人	2,193千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	8,084千円	7,868千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			44千円	47千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		8,040千円	7,821千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	8,084千円	7,868千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	誰もが参加できるスポーツ活動の場の提供、生涯に渡って豊かなスポーツライフを楽しめるよう支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	幅広い年齢層に、スポーツ活動の場・豊かなスポーツライフを楽しめるよう支援しており、継続してスポーツ振興を図っていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	各種大会の実施に係る必要な経費を最小限負担していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状、坂井市体育協会・スポーツ推進員の協力を得て実施していますが、継続していく方向で進めます。			
すぐにできる改善提案	事業補助金については内容を精査した上で見直し済みであり、更に事業チェックをしていきたいと考えます。現段階では改善点はないものと考えます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画の内容に沿う方向で進めていきたいと考えます。			
目標年度 平成27 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度				
成果	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数	目標値	4500	達成率	4500	達成率	4500	達成率	4500	達成率
		実績値	3453	76.73	3043	67.62	2633	58.51	3150	70
成果	坂井市古城マラソン申込者数	目標値	3000	達成率	3000	達成率	3000	達成率	3000	達成率
		実績値	3841	128.03	3754	125.13	3389	112.97	3851	128.37
活動	体育指導委員会主管大会参加者数	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
		実績値	34	17	70	35	78	39	58	29
活動	坂井市民スポーツ祭種目協会開催協議数	目標値	20	達成率	20	達成率	20	達成率	20	達成率
		実績値	24	120	22	110	20	100	19	95
活動	坂井市古城カップサッカー大会参加チーム数	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
		実績値	40	40	84	84	94	94	100	100
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ振興事業		事業コード	10060200106	
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	西出 政男
事業対象	坂井市内在住の全国以上の大会出場者 学生については坂井市出身で坂井市に保護者が在住する出場者。坂井市体育協会、坂井市スポーツ少年団				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市全国スポーツ大会出場奨励金支給要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。  
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体の活動に対して補助を行う。

【激励事業】  
予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督について、激励金を支給する。  
国民体育大会 10,000円/人  
全国大会 一般 8,000円/人、高校生以下 5,000円/人  
アジア大会 規模に応じ 30,000円以内/人  
国際大会 規模に応じ 50,000円以内/人  
高校野球・高校サッカー大会への参加校 1チーム500,000円

○報償費（激励金） 4,104千円  
○需用費（消耗品費） 4千円

【団体補助事業】  
各団体の年間活動に対して、補助金を支給する。

市体育協会運営補助金：  
坂井市市民の体育及びスポーツの振興を図るとともに、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を目的とする。また加盟30団体の競技種目の普及、発展及び競技力の向上を目的とする。  
○補助金 22,963千円

市スポーツ少年団運営補助金：  
各種スポーツ活動をはじめとし、野外・学習・奉仕活動や体力テストなどを通じて基礎体力を養うとともに健全な青少年の育成を目的とする。  
○補助金 4,000千円

スポーツ振興事業費補助金：  
坂井フェニックスサッカークラブの活動事業に対して支援し、市のトップチームとしてのチームづくりを図り、サッカーを通じて本市におけるスポーツの振興と青少年の健全育成に貢献することを目的とする。  
○補助金 1,000千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	315千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	4千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	32,097千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	32,416千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.52人	3,697千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.52人	3,697千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	36,113千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		36,113千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	36,113千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	激励金支出人数	人	目標値	343	達成率 342	達成率 332	達成率 390	
			実績値	325	94.75	326	95.32	284
成果	体育協会加盟団体開催事業数	事業	目標値	105	達成率 105	達成率 102	達成率 102	
			実績値	---	---	115	112.75	115
活動	国際大会出場者数	人	目標値	10	達成率 10	達成率 10	達成率 10	
			実績値	7	70	7	70	13
活動	国民体育大会出場者数	人	目標値	30	達成率 30	達成率 40	達成率 40	
			実績値	30	100	35	116.67	26
活動	スポーツ少年団加入員数	人	目標値	2000	達成率 2000	達成率 2000	達成率 2000	
			実績値	1495	74.75	1533	76.65	1586
活動	ちびっこサッカー教室参加者数	人	目標値	300	達成率	達成率	達成率	
			実績値	180	60			

すぐにできる改善提案	現状のまま継続します。		
目標年度	平成27	年度	
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度	未設定	年度	
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	それぞれの事業目的にそって、事業内容を精査しながら継続していきたいと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状のとおり実施していきたいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	スポーツ振興を図るため、事業内容、コストなど精査しながら助成していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	今の体制を維持しながら支援していきます。			
すぐにできる改善提案	幅広い年齢層が親しめる生涯スポーツの振興を図り、更なる競技力向上に努めていきます。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画のスポーツ振興に寄与するもので、今後も継続していきます。			
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

事務事業名	体育施設管理事業		事業コード	10060300101	
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	宮永 英之
事業対象	社会体育施設及び学校体育施設の開放				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	学校体育施設の管理運営
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市学校体育施設の開放に関する条例及び同施行規則、三国運動公園野球場広告掲載実施要領			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

スポーツ環境の整備充実を図るため、坂井市の総合計画と整合させながら、既存の体育施設が安全かつ安心して利用できるよう、施設の管理を図ります。

【学校体育施設開放事業】  
小・中学校の体育施設を、学校行事に支障をきたさない範囲で開放し、市民の健康増進やスポーツの振興を図ります。また、利用者の利便性を考慮し、公益財団法人坂井市体育協会に事業を委託します。

【三国運動公園野球場有料広告事業】  
三国運動公園野球場のグラウンドフェンスに有料広告を募集し掲載します。広告料は、市内体育施設の改修費用に充てます。

◆体育施設維持管理事業 49,342千円  
 ○旅費（B & G各種会議旅費） 109千円  
 ○需用費（施設修繕料） 149千円  
 ○役務費（火災保険料） 399千円  
 ○委託料 11,085千円  
 ・学校体育施設開放事業委託料  
 ・防火対象物点検委託料  
 省エネ対策事業  
 ○需用費（施設等修繕料） 368千円

○使用料及び賃借料（土地借上料） 30,270千円  
 ○工事請負費（体育施設整備工事費） 5,198千円  
 ○備品購入費（体育施設AED購入費） 1,004千円  
 ○負担金（B & G地域海洋センター負担金） 740千円  
 ○補償金（ナイター周辺水田補償金） 20千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	11,085	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	517	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	399	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	37,342	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	49,343	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	人件費	正職員	0.55人	3,910	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人
		人件費合計	0.55人	3,910	千円	人	千円	人	千円	千円
		総事業費	53,253	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他	800		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	52,453	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	53,253	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
成果	学校体育施設利用者数	人	目標値	80,000	達成率	80,000	達成率	95,000	達成率	110,000	達成率
			実績値	70,197	87.75	80,374	100.47	92,387	97.25	114,715	104.29
活動	学校体育施設開放対象校数	校	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	24	達成率
			実績値	25	100	25	100	25	100	24	100
活動	広告料収入	千円	目標値	2,400	達成率	2,400	達成率	2,415	達成率	2,415	達成率
			実績値	2,400	100	2,400	100	2,415	100	1,875	77.64
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	施設の老朽化が進んでいるため、計画的に施設の修繕を行います。また、平成25年度に16区画中、10区画が契約満了となる三国運動公園野球場有料広告事業について、現広告主と契約の延長及び新規広告主の獲得を行います。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	施設の老朽化に伴う修繕工事を次のとおり実施しました。 ・三国運動公園テニス場人工芝部分改修工事（第1期） また、平成24年度末にて契約が満了となる4区画中、3区画の広告主と延長の契約更新を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	平成30年に開催予定の福井国体に向けた施設の整備について、福井県国体推進課及び各競技協会と協議します。また、三国運動公園野球場において、有料広告事業による広告料収入によって当該施設の修繕を計画的に実施します。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	福井国体に向けた施設の整備について、福井県国体推進課及び日本サッカー協会と協議しました。また、三国運動公園野球場有料広告事業による広告料収入によって、平成25年度に防球ネット設置工事を予定しています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の老朽化が進んでおり、施設の統廃合について検討します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	適切な施設の管理を行います。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	計画に沿った施設の修繕を実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現状どおりとします。			
すぐにできる改善提案	施設の老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して修繕業務を行います。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化により修繕費がかさんでいるため、施設の統廃合を検討します。また、平成30年に開催予定の福井国体に向けた施設整備を福井県国体推進室及び各競技協会と協議します。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】

事務事業名	体育施設指定管理事業			事業コード	10060300106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	宮永 英之
事業対象	社会体育施設及び施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設の運営及び維持管理
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を指定管理者に委託し、体育施設の適切な維持管理と利用促進を図ります。また、自主事業を開催し、市民のスポーツ活動を促進します。				
	<p>市内43の体育施設の内、三国運動公園屋内温水プール、丸岡フィットネスセンター及び丸岡B&amp;G海洋センターの3施設については、アクアスポーツ株式会社、残りの40施設については、公益財団法人坂井市体育協会が三国体育館、丸岡体育館、春江体育館、坂井体育館を拠点として施設の管理運営を行います。また、指定管理者は、モニタリングマニュアルに基づいたモニタリング等を実施します。</p> <p>○委託料（指定管理者委託料） 214,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丸岡B&amp;G・フィットネスセンター 19,000千円</li> <li>三国運動公園屋内温水プール 23,500千円</li> <li>坂井市体育施設 121,800千円</li> <li>坂井市体育施設（丸岡自治区） 50,500千円</li> </ul>				

すぐにできる改善提案	施設について、老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して修繕業務を行います。指定管理者について、モニタリングマニュアルに基づき、指定管理者と連絡及び調整を密に行います。また、指定管理者の管理運営方法に問題があると認められる場合は、直ちに改善策を講じるよう、指導・助言を行います。さらに指定管理者の評価を行い、指定期間が満了となる施設については、指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者の候補者の選定を行います。	
目標年度 平成24 年度		
取組状況	施設の老朽化に伴い、三国運動公園テニス場人口芝部分改修工事（第1期）を行いました。モニタリングについては、指定管理者から提出される業務報告書、事業報告書等を基に日時定的に実施し、評価を行いました。平成24年度にて指定期間が満了となる坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター施設について、指定管理者評価委員会及び指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者の候補者の選定を行いました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	平成30年に開催予定の福井国体に向けた施設整備について、福井県国体推進課及び各競技協会と協議し、計画的に実施します。	
目標年度 平成30 年度		
取組状況	福井県国体推進課及び日本サッカー協会と施設整備について協議しました。サッカー競技会場となる丸岡スポーツランド多目的グラウンドの人工芝整備事業について、独立行政法人日本スポーツ振興センターに対し、助成金の交付申請書を提出しました。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費			
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	214,800千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	千円	千円	千円			
	事業費合計	214,800千円	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.98人	6,967千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.98人	6,967千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	221,767千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円				
その他		2,400千円	千円	千円	千円				
一般財源		219,367千円	千円	千円	千円				
財源合計	221,767千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	施設の老朽化が進んでおり、施設の統廃合について検討します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を行います。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	類似した施設について、指定管理の一括募集を行い、事務の効率化に伴うコスト削減を図ります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現状どおりとします			
すぐにできる改善提案	施設について、全体的に老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して施設の修繕業務を行います。モニタリングマニュアルに基づき、指定管理者と連絡及び調整を密に行います。また、指定管理者の管理運営方法に問題があると認められる場合は、直ちに改善策を講じるよう、指導・助言を行います。さらに、指定管理者の評価を行い、指定期間が満了となる施設については、指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者の候補者の選定を行います。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴い、修繕費がかさんでいるため、施設の統廃合を検討します。また、平成30年に開催予定の福井国体に向けた施設整備を福井県国体推進課及び各競技協会と協議します。			
目標年度 平成30 年度				

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	指定管理体育施設利用者数	人	目標値	559,610	達成率 541,392	達成率 635,000	達成率 635,000	
			実績値	585,273	104.59	564,029	104.18	626,917
活動	指定管理者自主事業開催数	件	目標値	45	達成率 40	達成率 32	達成率 23	
			実績値	47	104.44	53	132.5	36
活動	指定管理者委託料	千円	目標値	214,800	達成率 216,300	達成率 221,600	達成率 222,600	
			実績値	214,800	100	216,300	100	221,260
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

【事業の成果】